



余湖 龍二 議員

コロナが
落ち着きました
今後は活発な活動を

問 飲食を伴う会合の解禁の考えは

町長 懇談会・懇親会の開催は言及しない

飲食業の現状

についての把握は

問 コロナ禍の確認から3年間が過ぎ、政府もマスクの着用を個人の判断に任せるなどコロナ対策を抜本的に転換した。

この3年間は飲食業にとって苦境の3年間であった。

飲食業の現状についてどのように把握しているか。

町長 コロナウイルス感染症は猛威を振るいまたたく間に感染が広がったが現在は全国的に感染者数が減り、本町においてもかなり少なくなっている。

この3年間は全ての町民が非常に厳しい生活を強いられ、飲食業にとっても自制や時短営業の要請、感染症対策の徹底など厳しい経営状態だった。

多人数での会食はまだ少ないようだが、徐々に少人数での会食などは増え飲食店の客足がもどってきていると感じている。

ただ、もう一つの問題として物価高騰により飲食業にとっては依然として厳しい経営状況が続いているとも感じている。

今後の飲食を伴う会合解禁の考えは

問 政府のコロナ対策の抜本的な転換を機に我が町でも会食会合の取り扱いについて見直す時ではないか。

町長 今後の飲食を伴う会合の解禁の考えは、3町長 国や北海道では3

月13日からマスクの着用を個人の判断にまかせることとし、徐々にではあるがコロナ禍前の日常を取りもどす方向に向かっている。

町の行動指針においても3月13日からは町が主催する懇談会・懇親会などの開催の判断については言及しないことで、現在改定作業を進めている。



問

今後の出動体制改善の考えは

町長

職員定数が15名から17名へ増員

問 生命財産を守る消防業務の中で消火活動と並んで重要な救急救命のための救急車の出動は年々回数が増加し続けています。

現在令和5年4月付で救急救命士資格取得見込み者1名の採用が内定されている。体制を充実させ全体的な隔日勤務体制を図っていく。

都市部では過酷な業務のため事故を起こした事例もあり、本町でもそのような事態になる恐れはないのか心配だ。

今後の出動体制の改善の考えは。

町長 消防職員の勤務や出動体制の決定については北見地区消防組合の権限であり法令上町は体制改善の権限は有してないが、令和5年の北見地区消防議会で訓子府支署の職員定数が15名から17名に増やされた。



余湖議員の一般質問を視聴できます